

議案番号	議案名	賛成しなかった議員
	概要	
議案第110号	津市手数料徴収条例の一部の改正について 地方公共団体の手数料の標準に関する政令が改正され、戸籍等に関する電子証明書提供用識別符号の発行事務に係る手数料の額の標準が規定されたこと、また、消防法に規定する危険物を貯蔵する施設の設置に関する許可に係る手数料の額の標準が引き上げられたことなどに伴う所要の改正	滝勝弘、中野裕子、岡村武（拒否）、長谷川植（拒否）
	《反対討論 日本共産党津市議団 滝 勝弘議員》戸籍等に関する電子証明書提供用識別符号の発行事務に係る手数料はマイナンバー制度に基づくものであり、元の法律であるマイナンバー法に問題があると考えるところから反対する。	
議案第111号	令和5年度津市一般会計補正予算（第11号）	岡村武（拒否）
	予防衛生事業の増による4,446万6,000円の増額補正	

報 告

議案番号	議案名
	概要
報告第33号	専決処分の報告について 交通事故による損害賠償額の決定 37万3,060円
	専決処分の報告について 交通事故による損害賠償額の決定 23万4,806円
報告第34号	専決処分の報告について 交通事故による損害賠償額の決定 23万4,806円
	専決処分の報告について 道路管理の瑕疵による損害賠償額の決定 8万5,050円
報告第35号	専決処分の報告について 道路管理の瑕疵による損害賠償額の決定 8万5,050円
	専決処分の報告について 保育所における事故による損害賠償額の決定 1万円

不採択とされた請願

請願番号	請願名	賛成議員
	概要	
請願第10号	帯状疱疹ワクチンの定期接種化を求める請願書 帯状疱疹の発症率は50歳代から上昇して60～80歳代でピークを迎え、80歳までに3人に1人が発症するといわれており、発症予防にはワクチンが有効とされているが、費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくない。帯状疱疹の合併症として最も多い帯状疱疹後神経痛は痛みが長期間続くことがあり、医療費も多くかかることから、帯状疱疹ワクチンが定期接種化されることを関係機関に働きかけるよう請願する。	滝勝弘、中野裕子、桂三発、坂井田茂
	《賛成討論 日本共産党津市議団 中野 裕子議員》帯状疱疹を発症すると、焼けるような痛みで夜も眠れなくなったり、日常生活や就労が制限されることも多々ある。国主導での定期接種化が必須であると考えるところから賛成する。	
請願第11号	おたふくかぜワクチンの定期接種化を求める請願書 おたふくかぜは髄膜炎や脳炎・脳症などの神経の合併症を伴うことがあり、合併症により聴覚障害などの後遺症を残すだけでなく、まれに死に至る場合もある。おたふくかぜワクチンは、乳幼児の死亡・後遺症のリスクを軽減させる重要なワクチンであるが、経済的理由で接種できない乳幼児も多く、また、おたふくかぜの危険性を認識できていない保護者も多くいると思われることから、当該ワクチンが定期接種化されることを関係機関に働きかけるよう請願する。	滝勝弘、中野裕子、桂三発、坂井田茂
	《賛成討論 日本共産党津市議団 中野 裕子議員》おたふくかぜに自然感染すると、合併症として聴力の回復がほぼ望めないムンプス難聴を発症する恐れがあり、日本小児科学会だけでなく日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会もワクチンの定期接種化を推奨している。それまで聞こえていた人が聞こえなくなり、一生後遺症に苦しむということのないようにとの考えから賛成する。	
請願第12号	おたふくかぜワクチンの公費助成を求める請願書 おたふくかぜは軽い病気と思われるがちであるが、髄膜炎や脳炎・脳症などの神経の合併症を伴うことがあり、合併症により聴覚障害などの後遺症を残すだけでなく、まれに死に至る場合もある。おたふくかぜワクチンは、おたふくかぜによる乳幼児の死亡・後遺症のリスクを軽減させる重要なワクチンであるが、経済的理由で接種できない乳幼児も多く、また、おたふくかぜの危険性を認識できていない保護者も多くいると思われることから、当該ワクチンが定期接種化されるまでの間、ワクチンの費用の助成を関係機関に働きかけるよう請願する。	滝勝弘、中野裕子、桂三発、坂井田茂
	《賛成討論 日本共産党津市議団 中野 裕子議員》おたふくかぜワクチンの接種料金は、抗体を獲得するために2度接種すると8,000～12,000円程度かかる。このように高額で、危険性も十分に認知されていないため、おたふくかぜワクチンの接種率は30～40%と低く、おたふくかぜは今後も大規模に流行する可能性がある。強い感染力を持つおたふくかぜのワクチンは公費で助成されてしかるべきと考えるところから賛成する。	